

表8 足エステップアップシート単元デッサンⅡの一部抜粋 (注: 表の no. 6 がないのはこの単元で扱わないため)

日	no.	項目	評価			
			前単元 デッサンⅠ	自己 評価	教員 巡回	教員 総括
1 日目 (A 知識・ 技術  C 主体的 に学習 に取り組 む態度)	1	デッサンに必要な用具の準備ができる。 (鉛筆、練りゴム、消しゴム、はかり棒、画用紙、カルトン、クリップ)				
	2	カッターナイフを使用し、鉛筆をデッサンしやすいように削ることができる。				
	3	イーゼルの高さや位置を調節し、正しい姿勢で描くことができる。 (床に目印のテープを貼る。)				
	4	紙の種類によって裏表があることを理解し、正しく判断することができる。 (画用紙はざらざらしている方が表になる。)				
	5	鉛筆を寝かせて、柔らかな線で描きはじめることができる。 (紙を傷つけない柔らかめの鉛筆をえらぶ。)				
	7	画用紙に小さすぎず、大きすぎない構図でアタリをつけることができる。				
	8	画用紙にモチーフが中心にくる構図でアタリをつけることができる。				
	9	はかり棒を正しく持ち、モチーフの位置、距離、比率を測ることができる。				
	10	モチーフをいつも同じ視点で観察し、水平な台の上に置かれているように描くことができる。				
	11	立方体の透視図法(パース)を理解し、正しくパースをつけて描くことができる。				
	12	円柱の透視図法(パース)を理解し、中心軸に対し左右対称となるよう滑らかに描くことができる。				
	13	円柱の透視図法(パース)を理解し、上面より底面の方が楕円が膨らむように描くことができる。(見えない部分の楕円を大きく描く。隠れた部分を意識する。)				
	14	横になった円柱を楕円の長軸が円柱の中心軸と直角に交わるように描くことができる。				
	2 日目 (B 思考・ 判断・ 表現  C 主体的 な態度)	15	光の方向を一つに決め、モチーフ全体の大きな明暗(明・中・暗)を描くことができる。			
16		ものの面にそった方向に明暗の調子を入れることができる。 (立方体は辺に平行な線、台は水平線が基本となる。)				
17		円柱や球体は細かい面の変化に合わせた明暗の調子を入れ、回り込む面を描くことができる。				
18		円柱や球体には台から反射する光があることを理解し、反射光を表現することが出来る。				
19		一部分だけを描き込み過ぎないように、全体を同じくらいのスピードで調子を入れることができる。				
20		モチーフの手前部分ははっきりシャープに描き、後ろの部分は淡い調子で描くことができる。				
21		接地面を手前部分ははっきりシャープに、後ろの部分は弱く描くことができる。				
22		設定した光源に対し、台に落ちる影を水平方向に描くことができる。				
23		影をモチーフから離れれば離れるほど薄くぼかして描くことができる。				
3 日目	24	固有色を無彩色に置き換えて考え、正しい濃淡で描くことができる。 (例えば、青い物は濃く、黄色い物は薄く表現する。)				
	25	固有色を表現するとき、細かい部分と全体のバランスを見ながら、調子を整えることができる。 (例えば、黒いものでも後方であれば、色味を薄く抑える。)				
	26	ブロックのゴツゴツした質感が表現できる。 (鉛筆を寝かせて塗った上に、小さな穴や傷をやや粗いタッチで描き込む。)				

○できている △まあまあできている ×できていない

【授業前】	デッサンⅢの目標を立てましょう。 デッサンⅡの評価を参考にして、具体的な目標となるように評価項目の番号も記してください。
【授業後】	デッサンⅢの授業をふりかえりましょう。 ① 目標(評価項目)に向けて努力した点と達成具合 ②授業の感想 など